

平成16年3月24日

各位

熊本県上益城郡益城町田原 1155-5
株式会社トランスジェニック
代表取締役社長 是石 匡宏
(コード番号 2342 東証マザーズ)
(連絡先) 経営企画室 鎌崎 暁子
電話番号 092-736-8010

高親和性抗体の産生技術に関する独占的な実施権を取得 ～抗体事業において、新たな高付加価値ビジネスを開始～

株式会社トランスジェニック(本社:熊本県上益城郡益城町、代表取締役社長:是石匡宏)は、株式会社イムノキック(本社:熊本県熊本市、代表取締役社長:坂本珠美)と高親和性抗体の産生技術に関する独占的な実施許諾に関する契約を平成16年3月24日に締結し、抗体事業において新たな高付加価値ビジネスを開始いたします。

当社は、株式会社イムノキックが権利を所有するGANP遺伝子の改変による高親和性抗体の産生技術にかかる発明(国際出願番号:PCT/JP03/14221号)について、日本、米国、カナダ、欧州等における生産、使用、販売等の独占的な実施権を取得いたしました。

本技術は、熊本大学大学院医学薬学研究部の阪口薫雄教授らにより発明され、平成15年3月より財団法人くまもとテクノ産業財団(熊本TLO)と共同研究を進めてきたもので、財団法人くまもとテクノ産業財団より株式会社イムノキックに権利譲渡されたものであります。

GANP遺伝子改変動物は、抗原に対する高親和性抗体を産生する特徴を有しており、本技術を用いることにより、従来の手法に比べて、親和性が非常に高いモノクローナル抗体の作製が可能となり、抗体医薬、臨床診断薬、抗体を用いた各種測定系、研究用試薬などの開発に広く応用が可能であると期待されております。特に、抗体医薬の市場は、現在、多くの疾患領域で開発が進んでおり、本技術は、抗体医薬の開発に必要な様々な要素技術のなかで、重要な位置を占める可能性を秘めております。

当社は、本技術の独占的な実施権を取得したことにより、製薬会社等に対する本技術のサブライセンス、モノクローナル抗体を用いた各種製品の単独または共同による開発、並びにモノクローナル抗体自体の作製受託・販売等を平成16年4月より開始する予定にしており、抗体事業における高付加価値事業として、新たな事業の柱に育てていきたいと考えております。

株式会社イムノキックは、阪口薫雄教授らが開発した高親和性抗体を産生するGANP遺伝子改変動物を活用し、事業化することを目的として設立された、熊本大学発ベンチャー企業であり、当社は、同社に出資しております。

なお、現時点においては、当該契約が当社の業績に及ぼす影響は未定であります。

株式会社イムノキックの概要

名称	株式会社イムノキック
事業内容	1. 医薬品、動物用薬品、化粧品、農薬、食料品、試薬の開発及び販売 2. 前号に付帯するコンサルティング業務 3. 前各号に付帯する一切の業務
設立年月日	平成16年3月1日
本店所在地	熊本市高平一丁目30番69号
代表者	坂本珠美
資本金	1,000万円
役員数	4名
株主構成	阪口希久代70%、当社30%

以上

モノクローナル抗体とは

単一クローンの抗体産生細胞が産生する抗体で、マウスを使って作製するのが一般的。ポリクローナル抗体は、抗原で免疫した動物の血清から調製するため、多様な特異性をもつ抗体の混合物であるのに対して、モノクローナル抗体は、一次構造が均一であるために、その抗原特異性も均一となる。また、抗体産生細胞による継続的な生産が可能という特徴がある。モノクローナル抗体はヒトの癌の診断や病原菌、食中毒菌の検出等、医療や食品衛生の分野で広く実用化されている。